

令和4年(2022年)3月11日(金) 13839号



株式会社 日刊金属

本社 大阪府北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号

TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832

MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

日欧デジタル産業3団体

日-EUデジタル協定へ共同提言

JEITAなど

一般社団法人電子情報技術産業協会(網川智会長、JEITA)とDIGITALEUROPE、JBCE(欧州日本ビジネス評議会)の日欧デジタル産業3団体はこのほど、今春開催予定の日EU定期首脳協議で議論される「日本-EUデジタルパートナーシップ協定」(DPA)に向けた共同提言を発表した。日本とEUのデジタル産業界はデジタル政策で価値観とアイデアを共有し共通利益に向けて協力しており、首脳協議の場でデジタル協力のアジェンダを作成していくことを目指している。提言の抜粋は次の通り(仮訳)。

(1) グリーン×デジタル: 私たちは、EU、日本、および米国を含む他の志を同じくする国々に、デジタルとグリーン移行において統合されたアプローチを採用することを勧めます。国境を越えたデータの自由な流れは、国境を越えたグローバルなサプライチェーンとバリューチェーンのカーボンニュートラルを実現することも目的として追求されなければなりません。

サイバーセキュリティ対策、AI、ブロックチェーン、およびbeyond5G /6Gの正しい適応を促進する政策も、グリーンセクターにおいて重要であり、開発す

る必要があります。日本とEUの両方が、グリーン移行政策と規制の枠組みに関する交流を強化しつつ、知識と経験の共有を通じて両者のコミットメントを継続的に再確認することを奨励します。

(2) 信頼できるデータフリーフロー (DFFT) とデータガバナンス: DFFTの重要な要素をさらに調整するための作業を行う必要があります。日本とEUは、産業界と連携し、DFFTの実現に必要な信頼の要素と概念について合意することにより、国際的な議論を主導していくべきです。2022年にドイツで開催されるG7や2023年に日本で開催されるG7などの今後の国際会議は、他の多国間フォーラムとともに、重要なマイルストーンとなります。

(3) デジタル貿易: 大きな成功を収めた日EU経済連携協定(EPA)ですが、さらにサービスと投資の自由な流れを可能にする条項を締結することにより、両当事者が引き続き協定を強化することを希望します。私たちは、多国間主義の価値を共有するアクターとしてのEUと日本の重要な役割を認識しています。これには、国際貿易を強化し、多くの国、地域、コミュニティ、家族の繁栄を築いた法的手段や制度の保護が含まれます。世界貿易機関(WTO)での電子商取引交渉を通じて、デジタル貿易、電気通信、情報、および通信技術(ICT)に対する既存の障壁を禁止し、排除するための努力を継続することを希望します。

電子送信の関税に関するWTOモラトリアムは失効してはなりません。情報技術協定(ITA)の拡大については、より多くのWTO加盟国とより多くの製品が含まれるべきであり、WTO貿易円滑化協定の実施は改善されるべきです。

(4) 人工知能(AI) 人間中心のAI原則の世界的な普及: 世界中でその使用が急速に増加しているAIは他のテクノロジーとともに、社会的な課題に対処し、幅広い分野でのビジネスの成長をサポートすることが期待されています。EUと日本が、二国間対話を通じて、また標準化を含む多国間フォーラムの一環として、倫理と基本的権利に関するAI共通原則を策定、普及していくことを望んでいます。AI原則に沿った調整は、2地域間の将来のコラボレーションと調和の基盤を作ります。これらの原則を推進することにより、AIの政策立案と規制措置についての世界的な分断化を防ぐことができます。

(2面へ続く)

社会の発展とその未来に
テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしいKYOWAのエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>

 協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO.,LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番地

TEL (0729) 91-0818(代) FAX (0729) 91-4470

(5) サイバーセキュリティ：EU、日本および志を同じくする国（米国など）が統合されたアプローチで協力して、グローバルレベルでサイバーセキュリティを確保することが不可欠です。

この点で、サイバーセキュリティリスクを特定、保護、検出し、相互に認識可能な原則と価値に基づくIT機器とサービスのサイバーセキュリティを確保するため国際標準と相互認識の重要性を強調します。

(6) 半導体：短期的には、EUと日本は、グローバルサプライチェーンのギャップを特定し、共同R&I（ニューロモルフィック、スピントロニクス、量子チップ）などを通じてそれらに対処するロードマップを提示するため、正式な対話を開始する必要があります。中長期的には、半導体のバリューチェーン全体で容量を増やし、地政学的にバランスの取れた生産を実現するために協力する必要があります。

半導体製造能力の拡大を支援する法律は、現在、米国とEUでそれぞれ法制化の過程にあり、日本ではすでに承認されています。

半導体のグローバルサプライチェーンを強化するために、特にデジタル業界の代表者を議論に参加させることにより、これら当事者が個別に行動するのではなく、協力することを勧めます。

(7) Beyond5G/6G：私たちは、Beyond5G/6G開発、研究（両当事者の各R&Iプロジェクトへの相互参加を促進する）および共同投資に関する日EU協力の重要性を強調します。Beyond5G/6G協力が、既存の5Gソリューションと同等またはそれ以上のパフォーマンス、セキュリティ、およびエネルギー効率であることを確認することが重要です。

EU、日本、米国、その他のG7加盟国に対し、Beyond5G/6Gソリューションが、少なくとも現在の最先端の5G市場ソリューションと同じか、できればさらにエネルギー効率が高いことを確認するよう望みます。

また、国内の規制の枠組みに導入された技術的義務なしに、Beyond5G/6Gの展開を確実に実現する必要があります。両者は、2021年にG7によって再確認されたように、Beyond5G/6Gの標準化が国際標準開発のためのWTO /TBT原則に準拠していることを確約する必要があります。

副社長に林専務

大紀アルミ

株式会社大紀アルミニウム工業所（山本隆章社長）はこのほど、森川芳光・代表取締役副社長執行役員（生産統括室担当兼リスク管理室担当）が退任して監査役となり、後任に林繁典・取締役専務執行役員（資材管理部担当兼TQM推進室長）が就くなど役員職員の異動を発表した。6月の定時株主総会後の取締役会で正式決定する。

林氏は1956年生まれで1978年入社。2001年に執行役員となり、常務執行役員資材管理部長、同兼TQM推進室長、専務同等などを歴任し、2020年7月から現職。

他の異動は次の通り。（6月22日の就任予定）

▽取締役、常務執行役員、生産統括室長兼リスク管理室長（常務執行役員、生産統括室長兼リスク管理室長）山岡正男▽退任（非常勤監査役）小川泰司▽常務執行役員、営業管理担当兼東京支店長兼名古屋支店長兼軽金属原料部長（上席執行役員、営業管理担当兼東京支店長兼名古屋支店長兼軽金属原料部長）小畑田竜也▽上席執行役員、株式会社聖心製作所社長（執行役員、株式会社聖心製作所社長）中尾督▽上席執行役員、管理部長（執行役員、管理部長）黒須弘人▽執行役員、白河工場長（白河工場長）山田良次▽執行役員、企画室長兼管理部部長代理（財務担当）（企画室長兼管理部課長（財務担当））川口絵里

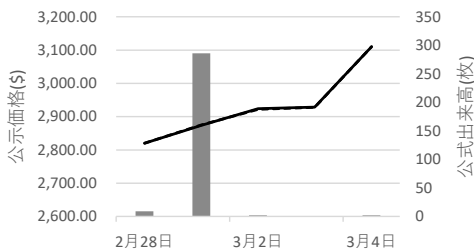
日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



LME公式値週間推移 2月28日~3月4日(現地)

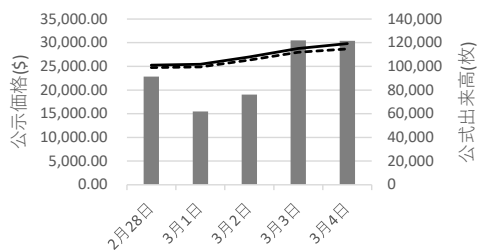
LME北米特殊アルミ合金



	2月28日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日
出来高	9	286	2	0	2
直物	2,820.00	2,874.00	2,924.00	2,929.00	3,110.00
先物	2,820.00	2,875.00	2,922.00	2,928.00	3,110.00

■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LMEニッケル



	2月28日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日
出来高	91,322	61,898	76,184	121,920	121,663
直物	25,240.00	25,450.00	27,000.00	28,800.00	29,800.00
先物	24,750.00	24,900.00	26,350.00	27,980.00	28,700.00

■ 出来高 — 直物 - - - 先物



■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると1月の自動車生産台数は前年比-20.9%の51万6,605台。輸出は-13.9%。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると2月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-18.6%の21万3,699台。

内訳は、乗用車が-18.6%、貨物が-17.9%、バスは-33%。

【住宅着工戸数】

1月の新設住宅着工は、持家及び分譲住宅は減少したが、貸家が増加したため、全体で前年同月比2.1%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比2.1%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は68,393戸。前年同月比4.2%増、10か月連続の増加。

○新設住宅着工床面積は5,702千㎡。前年同月比5.9%増、9か月連続の増加。

○季節調整済年率換算値では838千戸。前月比1.5%減、2か月連続の減少。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+4.2%、13万9,835 t。3か月連続プラス。

板類は、8万8,545 tの+7%で3か月連続プラス。

押出類は、5万3,290 tの-0.1%で3か月振りマイナス。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比-13.5%、5万5,460 t。4か月連続マイナス。

出荷は-10%、5万7,667 t。4か月連続マイナス。

【輸出】

アルミ新地金が前年比-41%の67 t、2次合金が-35.3%の1,543 t、スクラップが+15%の1万5,876 t、アルミ缶が-15.9%の6,153 t。

【輸入】

新地金が前年比+24.1%の14万8871 t、二次合金が+12.2%の9万8473 t、スクラップが+13.3%の521 t、合金スクラップは+44.5%の7895 t。

【見通し】

【自動車】

1月の自動車生産が-20.9%。1月国内販売台数が前年比-18.9%。4か月連続生産、販売共に大幅減少。半導体以外の中国からの部品供給の遅れからとの事。増加はしばらく見込めず。減少幅に注視。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+4.2%、13万9,835 t。3か月連続プラス。

新設住宅着工数減少の中、コロナによる巣籠り需要で今後もプラスが続くかの動向に注視。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比は、-13.5%の5万5,460 tで4か月連続マイナス。

出荷は、-10%の5万7,667 tで4か月連続マイナス。

引き続き半導体中国からの部品供給の遅れによる自動車生産販売の減少に伴う減少と分析。いつプラスに戻るか注視。

・アルミ輸出は、自動車生産の減少を受けてスクラップが増加。

・アルミ輸入は、自動車生産減の中バックオーダー向けの生産から大幅増。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は露ウ情勢を受けてLME価格が3,000-3,400ドルと高騰したが自動車生産、住宅着工数の減少から売りにくく、さりとて入荷も少なそう。

需要面に関してはパラリンピック(3月4日-13日)後の中国挽回生産に期待したいが露ウクライナ情勢に悪化でそれは難しそう。

【LME・為替予想】

今月は、①ロシア・ウクライナ情勢②米中の金融政策の動向が重要。

①に関しては、期待していた北京パラリンピック前の2回目の停戦交渉では両国とも一歩も譲らずはつきりした終戦(?)停戦は当面ないと思われる。

ロシアが侵攻を停止する可能性も低く各国の経済制裁は続くだろう。

それに伴い各国も経済的ダメージを受けることになるがそれはまだ先の話し。少なくとも今月中はロシア関連の商品全般は供給懸念から上昇するのでは?

②に関しては、中国に関しては北京パラリンピック終了後、経済再生のための生産再開金融緩和が行われるのではないかと?

米国に関しては、予定通り今月のFOMCで0.25%の利上げをする模様。

ロシアのウクライナ軍事侵攻で生じるリスクよりも、インフレとの闘いを最優先する姿勢を鮮明にした。ただそれによる商品関連の下落リスクは今月中は限定的。

これらを踏まえた2月のアルミ価格は3,300-3,900ドル(セツル)との予想。

ドル円値は113円~117円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては据え置きから+30~50円程度と予想している。(おわり)

故銅市況

10日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の1万0,171.00ドルより119.00ドル安の1万0,052.00ドル。直物の終値は、前営業日の1万0,160.75ドルより196.75ドル安の9,964.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の1万0,250.50ドルより180.50ドル安の1万0,070.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の1万0,209.00ドルより207.50ドル安の1万0,001.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の5月限は、前営業日の471.00セントより13.75セント安の457.25セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の4月限は、前営業日の7万3,520元より770元安の7万2,750元。

10日の東京為替市場TTSレートは、前日の116.89円より0.12円の円安ドル高、1ドル=117.01円。10日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は1万0,052.00ドル。この値と10日の東京外国為替市場USDollarTTSレートから計算した国内採算値は、前日の122万6,000円より1万2,000円安の121万4,000円。この日、電気銅建値は124万円に据え置かれた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

(3月9日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が958~963、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは923~928、並銅は888~898、込銅（高品位=約97%）は878、セパは750~755。コーベルは要り用筋で691、それ以外は676ほど。黄銅削粉も同様、要り用筋701、それ以外671~681どころの値頃。並青銅削粉は777~782どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が938~958、上銅新くずが903~923、普通上銅が878~898、2号銅線が870~890、並銅が868~888、込銅(94-97%)が816、込銅(90-93%)が818、下銅が490~540、セパが715~750、コーベルが631~676、黄銅棒地が626~671、黄銅削粉が621~666、黄銅ラジが586~594、交叉ラジが509~566、黄銅銅鋳物が503~510、送りが287~306、上青銅鋳物が774~794、並青銅鋳物が754~769、上青銅鋳物削粉が769~789、並青銅鋳物削粉が744~764どころ。

アルミニウム二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (3月前半)

2S=270円~290円、63S=254円~285円、アルミホイール(1P)=166円~280円、ビス付サッシ=147円~156円、エンジンコロ=150円~158円、込合金(機械鋳物)=148円~156円、缶プレス(ソフト)=121円~131円。

関西地区 (3月前半)

2S=257円~260円、63S=260円~263円、印刷版=250円~253円、アルミホイール(1P)=231円~241円、ベースメタル=194円~198円、機械鋳物=141円~144円、ダライ粉=120円~123円、ビス付サッシ=138円~143円、缶プレス=128円~133円。

為替動向

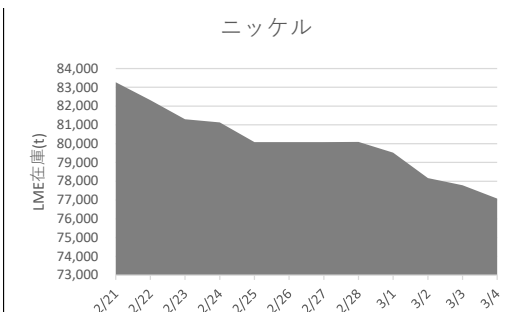
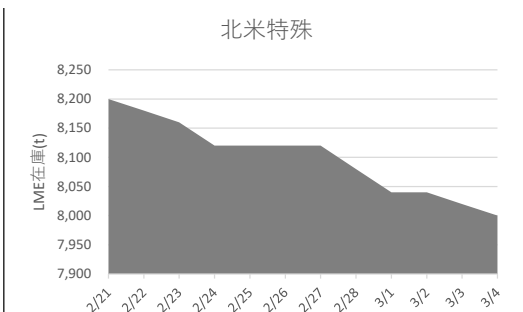
9日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0170ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.1040ドル~1.1050ドルで推移していた。欧州の主要株価指数がいずれも大幅高で投資家の過度なリスク回避姿勢が後退。原油など商品相場も急騰が一服。10・11日に予定されておるEU首脳会議ではロシアへのエネルギー依存を低減させる為の対策が協議されるが、欧州経済を支える大規模対策への期待感がユーロ買いを促した。

9日、ニューヨーク外国為替市場の円相場は3営業日の続落となった。前日と比べ0.25円の円安ドル高、1ドル=115.80円~115.90円で取引を終えた。

米国ではダウ工業株平均が653ドル高で終え、欧州の株式市場もDAXをはじめ急騰。OPEC加盟国が増産に動くとの観測からニューヨーク原油先物も一時は前日終値より16%下落。インフレや景気減速への過度の懸念が和らいだ。米国の長期金利は前日比0.10%高の1.95%に上昇。円売りドル買いが促された。

10日早朝の東京外国為替市場で円相場はほぼ横ばい前日17時と比べ0.02円の円安ドル高、1ドル=115.90円~115.92円だった。9日、米欧の株式相場が大幅に上昇、円に売りが出た。欧州景気先行きに対する過度な懸念が後退したことでユーロ買いドル売りが進行、対円のドル売りにも波及、対円でドルの下値は限られた。円は対ユーロで大幅に下落。同じく1.80円の円安ユーロ高、1ユーロ=128.30円~128.31円だった。

LME認定倉庫在庫量推移 2月21日~3月4日(現地)





LME銅相場は続落 直物終値は9,964.00ドル
 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場も続落
 LME非鉄相場は総じて軟調 ニッケルは取引停止、11日以降に再開



10日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、3月9日入電の10,171.00ドルより119.00ドル安の10,052.00ドル。2営業日の続落で6.32%安。この週3.96%の下落。3月に入って1.33%の上伸。3か月物の前場売値は、3月9日入電の10,250.50ドルより180.50ドル安の10,070.00ドル。2営業日の続落で6.06%安。この週3.54%の下落。3月に入って2.11%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地3月8日の6万9,600トンより2,275トン増の7万1,875トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、3月限が、3月9日入電の470.05セントより13.65セント安の456.40セント。3営業日の続落で7.41%安。この週7.41%の下落。3月に入って2.06%の上伸。4月限は、3月9日入電の470.35セントより13.75セント安の456.60セント。3営業日の続落で7.44%安。この週7.44%の下落。3月に入って1.91%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、3月限が、3月9日入電の7万3,300元より460元安の7万2,840元。2営業日の続落で2.36%安。この週0.15%の上伸。3月に入って2.65%の上伸。中心限月に当たる4月限は、3月9日入電の7万3,520元より770元安の7万2,750元。2営業日の続落で2.15%安。この週0.01%の上伸。3月に入って2.42%の上伸。

錫は急落 直物は約4%安

LME錫相場の前場売値は、直物が、3月9日入電の5万0,050.00ドルより1,850.00ドル安の4万8,200.00ドル。8営業日ぶりの反落で3.70%安。この週1.85%の上伸。3月に入って6.64%の上伸。3か月物の前場売値は、3月9日入電の4万9,500.00ドルより1,500.00ドル安の4万8,000.00ドル。8営業日ぶりの反落で3.03%安。この週2.13%の上伸。3月に入って7.02%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地3月8日の2,275トンより40トン減の2,235トン。

鉛は下落、約4%安

LME鉛相場の前場売値は、直物が、3月9日入電の2,491.00ドルより90.00ドル安の2,401.00ドル。2営業日の続落で4.46%安。この週1.60%の下落。3月に入って1.78%の上伸。3か月物の前場売値は、3月9日入電の2,535.00ドルより91.00ドル安の2,444.00ドル。4営業日ぶりの反落で3.59%安。この週0.08%の上伸。3月に入って3.65%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地3月8日の4万0,300トンより1,050トン減の3万9,250トン。

亜鉛は続落 直物は2営業日で約7%安

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、3月9日入電の4,091.00ドルより151.00ドル安の3,940.00ドル。2営業日の続落で7.25%安。この週2.10%の下落。3月に入って8.24%の上伸。3か月物の前場売値は、3月9日入電の4,100.00ドルより139.00ドル安の3,961.00ドル。2営業日の続落で5.85%安。この週0.98%の下落。3月に入って9.45%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地3月8日の14万1,250トンより200トン減の14万1,050トン。

アルミは反発 アルミ合金は横ばい 北米特殊は続落

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、3月9日入電の3,500.50ドルより31.50ドル高の3,532.00ドル。反発して0.90%高。この週8.28%の下落。3月に入って5.26%の上伸。3か月物の前場売値は、3月9日入電の3,516.00ドルより19.00ドル高の3,535.00ドル。反発して0.54%高。この週7.46%の下落。3月に入って6.67%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地3月8日の77万9,350トンより万8,175トン減の77万1,175トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、3月9日入電より横ばいの2,893.00ドル。この週2.66%の上伸。3月に入って7.07%の上伸。3か月物の前場売値は、3月9日入電より横ばいドルの2,900.00ドル。この週2.65%の上伸。3月に入って7.01%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、3月9日入電の3,099.00ドルより25.00ドル安の3,074.00ドル。2営業日の続落で4.24%安。この週1.16%の下落。3月に入って7.48%の上伸。3か月物の前場売値は、3月9日入電の3,101.00ドルより19.00ドル安の3,082.00ドル。2営業日の続落で4.02%安。この週0.90%の下落。3月に入って7.57%の上伸。

ニッケルは取引停止

LMEニッケル相場は現地8日取引分がすべて取消となった。さらに停止までの場外取引分は「通知があるまで取消す」とLMEは発表した。取引の再開は11日以降とのこと。再開時は8日の取引停止時点ではなく7日の終値が基準になる。前日比上下10%の制限幅が設定される見込で7日の終値に10%程度を加えて持ち高を解消する自主的相殺も検討中。

日刊金属 6月: 46,200円
 外電配信料 (税込) 12月: 92,400円

LME公示価格(US\$)／3月9日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	10,052.00	48,200.00	2,401.00	3,940.00	3,532.00	2,893.00	3,074.00	48,211.00
	前営業日比	▲ 119.00	▲ 1,850.00	▲ 90.00	▲ 151.00	31.50	0.00	▲ 25.00	10.00
先物	公示価格	10,070.00	48,000.00	2,444.00	3,961.00	3,535.00	2,900.00	3,082.00	48,048.00
	前営業日比	▲ 180.50	▲ 1,500.00	▲ 91.00	▲ 139.00	19.00	0.00	▲ 19.00	▲ 15.00

海外非鉄金属相場

(3月10日 入電・現地 3月9日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出新高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 3月限, 4月限, 5月限, 6月限, 7月限, 前日比, 出来高.

採算価格
プレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, アルミ, ニッケル, 錫, 亜鉛, 鉛.

フリー・マーケット

Table with columns: 米国生産者価格(地金), 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社.

Table with columns: NY相場, 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド).

Table with columns: ロンドン相場(ドル), 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド).

Table with columns: KLT M 銅 (MYR/KG, 出来高トン), (9日), (10日), 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

Table with columns: LME在庫(トン), 在庫, 増減, 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table with columns: 上海在庫(トン), 在庫, 増減, (3/4 現在), 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

Table with columns: LMEプレマーケット(ドル), 先物気配, (3/10), (3:00AM現地), 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table with columns: 上海相場, トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込, 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル, 3月限, 4月限, 前日比, 出来高.

*10日のKLT Mは取引がありません。LMEニッケルは取引停止中。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海, 元・円= 18.66, 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル, 錫.

非鉄金属製品相場

(3月10日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1510	1405	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1560	1455	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 52~54
銅大板2×1×2	1640	1605	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 93~96
銅管(ベース)	1580	1585	鉛板1.5ミリ	560	560	3C×1.6 96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	1490	1495	鉛線3ミリ	460	460	3C×2.0 143~146
銅棒25ミリ	1440	1395	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1480	1425	アルミ箔0.007ミリ	1075	1035	1.6mm 29.8~31.7
銅線0.9ミリ	1530	1465	〃 小板1ミリ	710	665	5.5sq 81.3~86.4
銅帯6×50	1460	1405	〃 大板1ミリ	690	655	14sq 203~216
銅平角線	1730	1625	〃 5052板	745	705	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1255	1180	〃 5083板	760	720	600V 3C×38 1543~1640
〃 0.3ミリ	1285	1210	〃 2017板	1200	1265	600V 3C×60 2372~2522
黄銅大板2×1×2	1405	1360	〃 線3ミリ	725	655	600V 3C×100 3986~4237
黄銅管	1680	1600	〃 快削棒50ミリ	910	870	6kV 3C×38 2522~2676
復水器用黄銅管	1655	1575	〃 合金棒50ミリ(17S)	895	850	6kV 3C×60 3507~3721
黄銅棒快削25ミリ	1055	1040	〃 合金棒50ミリ(56S)	850	810	CVV (関西~関東)
六角棒	1085	1070	貴金属(一般小口向け)			3C×2 123-126
四角棒	1115	1100	白金(グラム)		◆4518	4C×2 164-168
鍛造用	1095	1080	パラジウム(グラム)		◆12408	6C×2 234-239
ネーパル	1195	1180	金(グラム)		◆8199	7C×2 267-274
高力	1195	1180	銀(キログラム)		◆107580	合金鉄 1月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1460	1390	レアメタル輸入価格	1月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 200
黄銅平角線ロール仕上	1660	1600	金属ケイ素(99.99%未満)	665		〃 その他 277.1
黄銅条1.5×100	1255	1200	モリブデン酸化物	3312		フェロシリコン55%以上 293
リン青銅板一般用1.0ミリ	2830	2990	タンタル	54661		フェロクロム4%以上炭素含有 214.3
〃 バネ用0.3ミリ	3110	3270	マグネシウム	565		フェロモリブデン純分60%以上 3167
リン青銅棒25ミリ	2930	3110	コバルト	7665		フェロバナジウム 2892
リン青銅線3ミリ	3300	3470	インジウム	27965		フェロニッケル33%未満 518.1
洋白板一般用1.0ミリ	3580	3620				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3710	3750				

減 摩 合 金	3月1日改定	銅 合 金 地 金	2月1日発表
500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5915	BC 1種	1200
2種	5715	2種	1560
3種	5515	3種	1655
4種	4820	6種	1335
5種	4655	7種	1435
7種	1450	YBSC 3種	1060
8種	1210	LBC 3種	1595
9種	1045	PBC 2種	1685



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(3月10日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		39,000 ~ 42,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地	金	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	高値	安値
非鉄原料 (炉前材)								
1 トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1092	1091	電 気 銅	◆ 1179	◆ 1174	◆ 1181	◆ 1176	
2 号 銅 線	1040	—	電 気 亜 鉛	532	526	532	526	
上 銅 (新 切)	1069	1056	蒸 留 亜 鉛	520	514	520	514	
雑 ナ ゲ ッ ト	913	922	再 生 ダイカスト亜鉛2種	447	441	447	441	
並 銅	995	989	再 生 亜 鉛 (98%)	395	389	395	389	
下 銅	976	962	電 気 鉛	319	316	318	315	
銅 削 粉	975	965	再 生 鉛 1 号	310	300	306	301	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	315	311	311	307	
新 切 黄 銅 セ バ	858	864	錫 1 号	◎ 5900	◎ 5850	◎ 5900	◎ 5850	
コ ー ペ ル	825	822	ア ン チ モ ン	1700	1650	1700	1650	
黄 銅 棒 地	809	810	ニ ッ ケ ル (メッキ用)	4950	4900	4950	4900	
黄 銅 削 粉	803	806	コ バ ル ト	10400	10100	10400	10100	
並 黄 銅	705	680	セ レ ニ ウ ム	3400	3200	3400	3200	
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	666	641	ビ ス マ ス	1250	1150	1250	1150	
交 叉 ラ ジ エ タ ー	653	636	カ ド ミ ウ ム	550	500	550	500	
黄 銅 鋳 物	710	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	800	780	800	780	
山 送 り (55%)	380	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	◆ 445	◆ 441	◆ 447	◆ 443	
上 青 銅 鋳 物	856	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	342	337	342	337	
並 青 銅 鋳 物	854	845	〃 90 %	276	271	276	271	
上 青 銅 鋳 物 削 粉	849	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	441	436	444	439	
並 青 銅 鋳 物 削 粉	839	833	鋳 物 用 C2BS	466	461	468	463	
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1104	青 銅 合 金 地 金 3 種	1620	1610	1700	1690	
〃 (鋳 物)	972	—	〃 6種	1310	1300	1330	1320	
リ ン 青 銅 削 粉	885	877	ハ ン ダ 錫 60 %	3945	3905	3965	3935	
新 切 洋 白 (電 子 材)	903	890	〃 50 %	3395	3345	3415	3385	
新 切 亜 鉛	204	204	〃 40 %	2965	2905	2920	2890	
ダ イ カ ス ト く ず	169	169	減 摩 合 金 2 種	5650	5620	5655	5625	
亜 鉛 ド ロ ス	147	158	〃 4 種	4795	4770	4800	4770	
上 鉛	116	114	〃 7 種	1415	1365	1415	1365	
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	20	20	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		135	135	
活 字 鉛	101	98		〃 ダライ粉		120	120	
新 切 ア ル ミ 1 級	287	279		高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316		260	260	
新 切 サ ッ シ 1 級	287	277		耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310		350	350	
新 切 合 金 1 級	277	262		13クローム 新切		30	28	
機 械 鋳 物 1 級	180	170		ハ イ ス 9種		215	215	
ピ ス 付 サ ッ シ P	208	195						
合 金 削 粉 P	135	130						
込 ガ ラ P	130	122						
カ ン ・ バ ラ	◎ 195	179						



非鉄金属材料相場面
PW:KINZOKU2203